

6-8

生活リハビリへの取り組み

リハビリ個浴の導入

生活リハビリ

リハビリ個浴

特別養護老人ホーム 多摩特養老人ホーム

介護職員 大原 幹雄

東京都八王子市宮下町355番地

TEL: 042-691-0074

E-mail info@tamatokuyou.net

FAX: 042-692-3592

URL http://tamatokuyou.net

今回の発表の施設
またはサービスの
概要 10p

利用者80名、ショート2名の特養です。利用者の方に満足していただけるサービスを提供するには、職員が元気で介護に生きがいをもっていることが重要です。生活リハビリの考え方は、利用者・職員ともども元気ができます。

〈取り組んだ課題〉

- 個別援助への取り組み
- 入浴全般の見直し
- 生活リハビリへの取り組み
- 入浴方法の改善と実施

〈具体的な取り組み〉

- 職員体制や意識、建物の老朽化等ハード面・ソフト面のマイナス部分が大きい。
- 浴室増改築をきっかけに個別ケア・ソフト面等の業務見直し。
- 施設方針を決定。
- 生活リハビリについて介護部が中心に検討
- プロジェクトチームを立ち上げ、入浴について検討。
- 増改築までの間にスキルアップを図る。
 - ・中堅職員と担当職員等が様々な情報収集。
 - ・一般業務に支障がない様に少人数で数回に分けて他施設への見学、勉強会に参加。
- ハード面について【3千万と半年間を費やす。】
 - ・増改築、必要物品等を各責任者が検討して対応。
- ソフト面において
 - ・アンケートや聞き取りを担当者が職員・利用者様に実施。ハード面とソフト面の双方から同時に行う。
- 勉強会を開催。
 - ・周知目的で全介護職員対象に外部講師を招く。

〈活動の成果と評価〉

〔職員編〕

- 事故やヒヤリ・ハットが無くなった。
- 心身への負担が軽減。
- 適切な介助や個別援助が可能。
- 意識改善に繋がった。

〔利用者様編〕

- 3つの浴槽の為、ゆっくり入浴できる。
- プライバシーが守られる。
- 自由に過ごせる時間が生まれた。
- 入浴の待ち時間が軽減。
 - ・30分～2時間⇒約5分程度。

〈今後の課題〉

- 個浴対象者の拡大
- 時間的な問題改善

6日間(4日間が半日、2日間が一日)

↓

6日間(AM/PMの一日)
- 生活リハビリの拡大
 - ・食事を車イスから椅子